

平成 11 年度国立学校等技術専門官研修報告

電気・情報系（機械システム工学科） 佐藤 政司

1. 主催・研修期間・場所

主催 文部省及び東京大学
期間 平成 11 年 8 月 25 日（水）～8 月 27 日（金）
場所 東京大学附属図書館（3 階）

2. 研修目的

国立学校等の技術専門官及び技術専門官相当の職にある者に対して、必要な行政的識見の醸成を深めさせ、その職務に必要な専門的知識及び技術を修得させると共に、技術の継承及び保存等に関し、指導的役割を果せるよう、その資質の向上を図ることを目的とする。

3. 研修内容

3. 1 講義

- ① 大学行政上の諸問題（文部省高等教育局大学課長）合田 隆史氏
- ② 人事管理上の諸問題（文部省大臣官房人事課福祉班主査）野中 修氏
- ③ 技術専門職制度について（文部省大臣官房人事課給与班主査）嶋貫 和男氏
- ④ 学術研究の振興と国際交流（文部省学術国際局学術課長）佐々木 順司氏
- ⑤ 職場の健康管理（ストレスマネジメント）〔（株）東京ストレスマネジメント〕
（企画グループチーフ） 渡辺 章二氏
- ⑥ 地球環境問題について（東京大学大学院工学系研究科教授）小宮山 宏氏
- ⑦ リーダーシップ（話力総合研究所 所長）永崎 一則氏
- ⑧ 特別講演〔科学技術の展望〕（東京大学副学長）小林 正彦氏

3. 2 実習

3. 2. 1 ポスターセッション

ポスターセッションを効率よく行うため文部省から指示された要領で、予稿を作成した。研修初日に持参するサイズ縦 900 mm×横 900 mmの発表内容をまとめたパネルを作成し、ポスターセッション予稿集に基づき安田講堂で平成 11 年 8 月 26 日（木）10:03～10:06 の 3 分間発表した。

3. 2. 2 施設見学（東京大学内）

施設見学は A 班 B 班で、各班は、また 3 班に分かれ、15 名ずつタイムスケジュールに従って施設見学を行った。

①インテリジェント・モデリング・ラボラトリー

大型三次元画像装置：CABIN—高精細の立体表示スクリーンで囲まれた映像空間とデータグローブ等の入出力装置で構成される大型三次元画像装置 CABIN は、複数の人間で共同体験可能な没入型の仮想現実空間を実現する。この装置によって、コンピュータ上でシミュレーションされるミクロの世界や極限的世界を人間が体験することを可能にした。

② 医学部標本室

昭和12年、医学部2号館3階の1室に、基礎医学及び臨床医学の各教室（主として解剖学、病理学、法医学、皮膚科学、外科学の各教室）所蔵の標本のうち主なものを合せ、医学部学生の勉強に資するため、一定のシステムの下に展示する医学部標本室が出来た。整然と標本が陳列されていたが、中でも傑出人の脳、35人の著名人の脳が保存、展示してある。古いところでは元内閣総理大臣桂太郎（1847～1913）、作家の夏目金之助（1866～1916）、画家の横山大観、植物学者の牧野富太郎の脳があった。文身皮膚、明治時代に有名な彫師によって彫られたもので、生きていた時は、墨の黒は青く見える。保存方法として、オリーブオイルを定期的に塗布している。

③ 総合研究博物館

総合研究博物館は、東京大学における学内共同教育研究施設として、1877年の大学創立以来120年余にわたる教育と研究を通して集められた約240万点の学術標本が、17の専門分野別に保存されている。こうした学術標本を中心に総合的な、あるいは横断的な研究を行うとともに、展示とデジタル・ミュージアムによってその成果を広く公開した。見学した時は、[ふしぎ隕石]展と[骨～かたちと機能を支えるシステム]展が行われていた。

3. 2. 3 フリーディスカッション

フリーディスカッションは1班～6班まで、4班（15名）

場所 東洋文化研究所3F 大会議室（303）

東北大学の高橋氏が司会者となり、日頃の技術情報に関する意見交換を行った。

4. 所感

本研修では、北は北海道から南は九州まで、88名の技術専門官が集まり一緒に技術研修を受けた。文部省を始めとして、その道の権威の有意義な講義、通常では見学出来ない施設見学。また技術専門官による、機械・電気電子・情報処理・物理・科学・生物・生命科学・土木・建築・その他、数多く研究発表を拝聴した。本研修の実施に当たり技術部長花岡教授をはじめ、機械システム工学科、機械力学研究室・西田教授・斉当助教授の先生方、技術部の方々、本部職員と関係各位のご配慮に深く感謝申しあげる。

平成 11 年度 国立学校等技術専門官研修 日程

会場 東京大学 附属図書館 3 階会議室

8 月 25 日 (水)	8 月 26 日 (木)	8 月 27 日 (金)
9 : 30 受け付け	9 : 30 ポスターセッション説明	9 : 30 施設見学説明
10 : 15 開 講 式 (文部 省大臣官房人事課長) オリエンテーション	9 : 45 ポスターセッション	9 : 40 施 設 見 学 インテリジェント・モデリング・ラボラトリー - 医学部標本室 総合研究博物館
10 : 45 大学行政上の諸問題 文部省高等教育局大学課長 合田 隆史氏	12 : 00 ポスターセッション片付け	11 : 15 フリーディスカッション
12 : 00 休 憩	12 : 30 休 憩	12 : 15 休 憩
13 : 00 人事管理上の諸問題 文部省大臣官房人事課福祉 班主査 野中 修氏	13 : 30 職場の健康管理 (ストレスマネジメント) (株) ストレスマネジメント 企画グループチーフ 渡辺 章二氏	13 : 15 リーダーシップ 話力総合研究所 所長 永崎 一則氏
14 : 10 技術専門職制度について 文部省大臣官房人事課給与 班主査 嶋貫 和男氏	15 : 15 地球環境問題について 東京大学大学院 工学系研究科教授 小宮山 宏氏	15 : 00 [科学技術の展望] 東京大学大学福学長 小林 正彦氏
15 : 20 学術研究の振興と国際交流 文部省学術国際局学術課長 佐々木 順司氏	16 : 45 終了	16 : 30 閉講式 (人事課審査班主査)
16 : 20 ポスターセッション準備		17 : 00 終了
17 : 30 懇 談 会		
19 : 00 終了		